

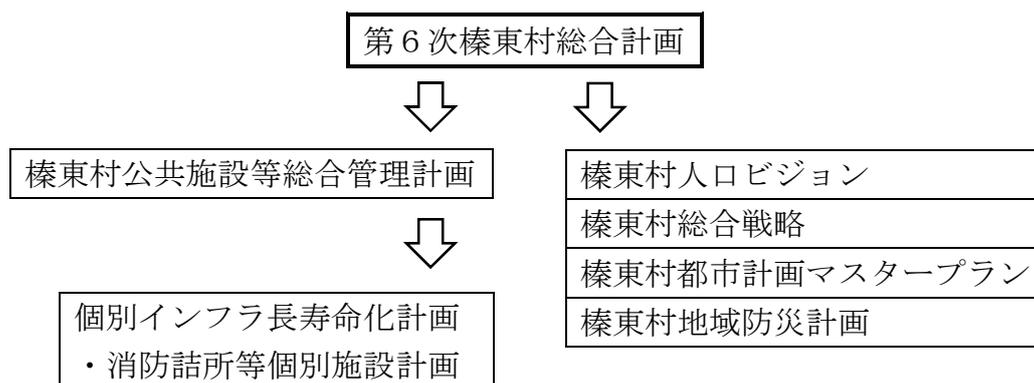
榛東村消防詰所等個別施設計画

平成31年3月

榛東村 総務課

1 計画の位置づけ

榛東村消防詰所等個別施設計画は、平成29年3月に策定された榛東村公共施設等総合管理計画を上位計画とした個別インフラ長寿命化計画として位置付けられます。



2 対象施設

榛東村公共施設等総合管理計画における行政系施設の中で、消防詰所等に関する以下の5施設を計画の対象施設とします。

No	建物名称	所在地	建築年度	延床面積(m ²)	構造
1	消防団詰所(第1分団)	山子田1260-3	平成26(2014)	99.90	RC
2	消防団詰所(第2分団)	長岡1136-1	平成10(1998)	81.90	鉄骨造
3	消防団詰所(第3分団)	新井1737-1	平成10(1998)	108.88	鉄骨造
4	消防団詰所(第4分団)	広馬場1726-1	平成16(2004)	89.27	鉄骨造
5	防災広場倉庫	新井784-1	平成27(2015)	96.32	軽量鉄骨造

3 計画期間

計画期間については、平成31(2019)年度から平成40(2028)年度までの期間とします。

なお、公共施設等総合管理計画の見直しなどにより適宜見直しを図っていきます。(5箇年を目途に見直し。)

4 対策の優先順位の考え方

対策の優先順位について、定期訓練や夜警などの消防団活動拠点、また、災害時に重要な拠点となる当施設の特徴を踏まえ、消防団員の安全性確保や利便性に係る修繕を最優先とします。

5 個別施設の状態等

消防詰所等は、災害時の防災活動拠点として、特に重要な役割を担っています。上位計画である榛東村公共施設等総合管理計画においては、5施設いずれも築20年以内で、現時点では問題はないが、設備の一部で老朽化しているものも散見されます。防災活動に支障のあるものについては、随時修繕等を行っています。

6 対策内容と実施時期

消防詰所等について、著しい劣化はみられないため、不具合の早期発見、予防保全に努めるものとします。

施設名称	今後の方針	説明
消防団詰所(第1分団)	現状維持	・防災活動拠点として不可欠な施設。 ・不具合の早期発見、予防保全に努める。
消防団詰所(第2分団)	現状維持	・防災活動拠点として不可欠な施設。 ・不具合の早期発見、予防保全に努める。
消防団詰所(第3分団)	現状維持	・防災活動拠点として不可欠な施設。 ・不具合の早期発見、予防保全に努める。
消防団詰所(第4分団)	現状維持	・防災活動拠点として不可欠な施設。 ・不具合の早期発見、予防保全に努める。
防災広場倉庫	現状維持	・防災活動拠点として不可欠な施設。 ・不具合の早期発見、予防保全に努める。

7 対策費用

今後の方針として、改修を想定した場合の今後10年間で必要となる参考概算

事業費は、約1.2億円です。平均すると1年あたり約1,200万円が必要となります。

施設名称	方針	対象面積 (㎡)	単価 (千円/㎡)	必要金額 (千円)
消防団詰所(第1分団)	改修	99.90	250	24,975
消防団詰所(第2分団)	改修	81.90	250	20,475
消防団詰所(第3分団)	改修	108.88	250	27,220
消防団詰所(第4分団)	改修	89.27	250	22,318
防災広場倉庫	改修	96.32	250	24,080
合計				119,068

※単価については、総務省監修の「公共施設等更新費用試算ソフト」で用いられている数値を参考。